
意味が分かった怖い話 こっくりさん

流星群

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意味が分かると怖い話 こっくりさん

【Nコード】

N4147BA

【作者名】

流星群

【あらすじ】

意味が分かると怖い話シリーズ第九弾！結構長めです、今回

（前書き）

《作者からの一言メモ》

意味が分かると怖い話シリーズの更新が遅くなって大変申し訳ございません

新たに浮かぶネタがあまりなくて、しかも完成度を高くしないといけない。

とても難しかったです……。

とりあえず、存分に恐怖しちゃってください！

「こつくりさん、こつくりさん

君に好きな人はいますか？」

友人が問いかけると

ひらがなの『あ』から『ん』まで書かれた
机の上に置かれた紙の上を

十円玉が音も立てずにすーっと勝手に動き出す

静寂が包み込む、放課後の教室内

友人はごくりとつばを飲み込んで
紙の上を凝視していた

十円玉は、八行の最初の文字に一度止まり
それからア行の二文字目に止まった

「『はい』だつて！」

友人は嬉しいのか驚いたのか
どちらとも言えない大声を出す

すかさず、友人は質問した

「その好きな人は、わたしですか？」

彼女の言葉に反応して

また十円玉が独りでに紙の上を走る

沈黙が支配する中

十円玉が導き出した答えは

「『いいえ』かー。残念……」

落胆した声を上げて、友人は小さく萎んだ。

「んじゃあ、今度は私ちゃんが質問する番だね」

そう言い、友人はこっくりさんの続きを促す

ついにこのときがやってきた

私は嬉しさを面に出さぬように努力する
バレてはならぬと何とか自制させた

そして、はつきりとした口調で告げる

「こっくりさん、こっくりさん

友人ちゃんを殺したいと思う人はいますか？

「えっ？」

友人は私は何を言ったのか

理解出来ないとしてもいうような顔をする

いや、理解したくないのだろう

「ちょっと！ 止めて止めて！」

「止めることは出来ないよ。」

もし友人ちゃんが指を離しでもしたら

友人ちゃん、呪われるよ？ 分かってる？」

そう優しく諭すと

友人は人形のように動かなくなってしまった

そんな友人の気など知らずに

十円玉は紙の上をスルスルと滑り……

「えっ？ ……嘘、でしょ？ 『はい』って！
ありえないありえない！」

恐怖のあまりか、混乱してしまった友人は
あろうことか十円玉から指を離してしまった

離したら呪われると言っていたのに、だ

「あーあ、離しちゃった。
これで友人ちゃんは呪われちゃったよ」

私が言う前に彼女は既に 呪 わ れ て い た 。

何故なら彼女の胸には
包丁がずっぷりと奥深く刺さっていたのだ

「だから言っただじゃん、呪われるって」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4147ba/>

意味が分かると怖い話 こっくりさん

2012年1月10日23時50分発行